

中野サンプラザ3Dモデルデータのオープンデータ化について

1 経緯

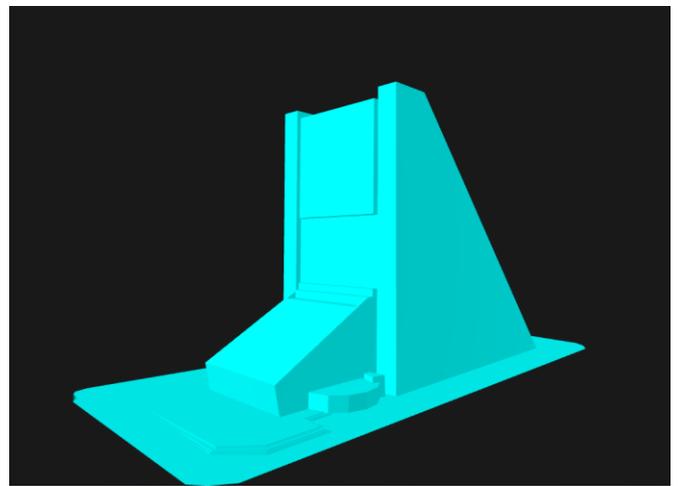
2023年7月に閉館となった中野サンプラザについて、文化財としてアーカイブ化することを目的として、「中野サンプラザ3Dモデル作成業務委託」により各種計測を行い、中野サンプラザの内観及び外観の3Dモデルを作成した。これらにより得られた成果物をオープンデータとして、区民をはじめ誰もが利活用できるよう、公開する。

2 オープンデータとして公開するデータ

- (1) 外観・内観(エントランス、大ホール、チャペル、レストラン)の3Dモデル(3次元点群データ)及び元画像データ、計測データ
- (2) 構造物等の形状を3次元で表現した3次元モデル(BIM/CIMモデル※の基となるデータ)
※構造物等の形状を3次元で表現した「3次元モデル」と「属性情報(部材等の名称、形状、寸法、物性及び物性値(強度等)、数量などの情報)」、「参照資料」を組み合わせた情報モデルのこと。通常、建設・土木事業の品質向上や生産性向上を目的として用いられる。



外観3Dモデル(点群データ)



BIM/CIMモデルの基となるデータ

なお、3Dモデルの補完資料として撮影した館内の現況撮影写真及び動画データ、外観の3Dモデルを作成するために撮影した航空写真は、オープンデータの対象とはしない。

3 公開方針

オープンデータ基本指針(平成29年5月30日 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進戦略会議決定)及び中野区オープンデータガイドライン(2019年6月27日決定)に基づき、オープンデータとして公開する。

4 公開方法

当面の間は、データを希望する者に対して、ブルーレイディスク等の記録媒体を用いてデータの提供を行う。

あわせて、東京都オープンデータカタログサイトに掲載できるように調整を行う。

※ 今回取り扱うデータ容量が非常に大きい(約100GB・データ数40)ため、中野区オープンデータカタログサイトには掲載できない。

5 3DデジタルモデルWebビューアの公開

二次利用等を想定しない、3Dデジタルモデル(中野サンプラザの内観)の単純な閲覧に供するため、Webビューアサービス(Matterport(マターポート)※1)を公開する。公開の方法は、閲覧用URLを区ホームページに掲載することによる。



内観3Dモデル

※1 Matterport社(米)が提供する空間の3Dスキャニングとそのデータのデジタル化ソフトウェアプラットフォーム。360度カメラによる撮影と、LIDAR(ライダー)センサ※2による360度レーザー計測した結果を統合し、3Dデジタルモデルを作成・閲覧できる。

※2 レーザー光を使ったセンサの一種で、対象物までの距離、位置や形状まで正確に検知できる。

6 公開の開始

2024年7月16日(火)

なお、5による公開については、当該3DデジタルモデルWebビューアの使用契約期間が2027年3月27日(木)までであるため、同日までとする。

7 想定する活用事例

デジタルアーカイブとして後世に残すだけでなく、例えば、大ホールやチャペル等をVR空間に再現し、バーチャルコンサートや結婚式の開催など、(民間のノウハウ生かした)様々な活用が期待できる。

8 オープンデータ活用の促進に向けて

区民等における本オープンデータの活用の促進を図る一助とするため、中野サンプラザ3Dモデルを作成した事業者による講演会(活用事例のほか活用の可能性など)の実施を予定している。

また、実際にデータ利用する(した)方へのヒアリングを実施する。